

## 授業科目

## 福祉NPO論

担当教員名 井上 基之	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

## 授業の概要

NPOの定義について理解する。  
福祉NPOの役割と意義について理解する。  
福祉NPOの具体的な実践について理解する。

## 授業の目的

地域福祉の前進に伴って福祉NPOの役割が大きくなってきているが、福祉NPOが実際に貢献している地域福祉との相互関係において、福祉NPOの役割や存在意義を具体的に理解できるようにする。

## 学習目標

NPOが創出する社会領域の捉え方について把握する。  
福祉NPOの役割と性格について把握する。  
NPOの経営について理解する。  
各種の福祉NPOによる具体的な実践内容について把握する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	NPOとNGOの定義	講義に基づく理解を基本とするが、自発的な発言を歓迎する（以下、同じ）	井上 基之
2	社会経済システムにおけるNPOの位置		井上 基之
3	NPOの創造する世界とは何か		井上 基之
4	社会運動としてのNPO		井上 基之
5	高齢者を対象にしたNPO		井上 基之
6	障害者を対象にしたNPO		井上 基之
7	医療分野でのNPO		井上 基之
8	NPOの経営		井上 基之
9	NPOと行政の関係		井上 基之
10	福祉NPOの実践事例（1）		井上 基之
11	福祉NPOの実践事例（2）		井上 基之
12	福祉NPOの実践事例（3）		井上 基之
13	福祉NPOの実践事例（4）		井上 基之
14	福祉NPOの実践事例（5）		井上 基之
15	まとめ		井上 基之

**使用図書**

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	講義ごとに必要な資料を配布する。					

**評価方法**

レポートによって評価する（80点）・授業中の発言内容によって評価する（20点）。

**履修上の留意点**

福祉NPOについて、インターネットや著書によって、あるいは直接、訪問するなどしてその実情について把握しておくことが望ましい。  
県内の福祉NPOに積極的に関心を持つことが望ましい。

**オフィスアワー・連絡先**

授業内容の質問・相談がある学生は、当該科目名・所属学科・学年・学籍番号・氏名・質問内容等を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへ連絡ください。